

平成27年度 阿賀野市外国語部 活動報告

部長 石塚 繁

1 研究主題

子どもたちが主体的に学ぶ授業ための教材開発

2 研究の概要

- 4月21日（火） 組織の構成・役割分担・事業計画の作成
11月24日（火） 研修会 「外国語活動授業の進め方」
伝達講習「CAN-DOリストの形での学習到達目標」を基にした授業づくりの視点

3 研究の実際

(1) 研修会

①研修テーマ 「外国語活動授業の進め方」

講師：Jeffery Cramer 様（インタラック 阿賀野市ALT）

②内 容

外国語を指導する上で、小学校の段階では「英語はおもしろい」「海外に行ってみたい」などと、児童が外国語や外国に興味をもつことが大切であり、無理に外国語を覚えさせようとするのではない。そのために、指導者は児童と一緒に外国語を楽しみ、その姿を児童に見せることが大事であることをお話しされた。

その具体的実践として、ゲームや他者との交流を活用した様々なエクササイズを紹介していただいた。研修を受ける先生方は、児童の立場になりきって楽しく活動することができた。英語力に自信がなくても、しっかり声に出すことによって、相手に伝わるのが楽しくなってくる。その感覚を学習する児童にも体験させたいと感じた。



(2) 伝達講習

①テーマ 「CAN-DOリストの形での学習到達目標」を基にした授業づくりの視点

伝達者：五十嵐 早苗 教諭（阿賀野市立京ヶ瀬小学校）

②内 容

英語教育の動向について、「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」や「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」等を説明していただいた。これからの英語教育に向けて、学校職員に周知を図るとともに、今の段階で準備できることを進めていく必要がある。

4 成果と課題

現在行っている外国語活動の意義を体験を通して理解できた。児童が外国語に親しみをもつことができるように、楽しく外国語の学習を進めることが大切である。しかし、外国語活動（英語教育）の動向を考えると、外国語（英語）の教科化が図られ、より一層外国語活動（英語教育）が重視される。そのために、現在の外国語活動のよさを継続しつつ、新たな外国語活動（英語教育）に向けて、情報を収集し準備をしていく必要があると感じた。